



大手・中堅企業向け
クラウド対応生産管理パッケージ

加工業版

組立業版

Lite版

DX版

ベトナムをはじめとする海外、および国内での導入実績があります。



生産管理を、クラウドで。



現場主体の「見える化」を、 クラウドでも、グローバルでも。

貴社業務に関して
こんな課題はありませんか？

生産管理業務に関する課題・お悩みはもちろんの事、
『エグゼクス』ならシステム導入時のお悩みも解決します。
だから、業務改善、事業拡大のチャンスを逃しません。
最適な業務モデルの構築をお手伝いします。

開発責任者の声



専務取締役
後藤清孝

日本の製造業が世界で活躍するために私たちができることは何か？
『エグゼクス』はその答えを求めた1つの形です。

昨今、大手・中堅企業のお客様が海外へ進出される中、「意外にコストがかかり、なかなか利益がでない」、「管理が甘くどこにお金がかかっているのか見えない」、「業務の変化に合わなくなった」といったお悩みを聞く機会も増えてまいりました。

そこで管理者の方はシステムを導入しようとして検討をされるようですが、システム運用経験の浅いスタッフには旧来のパッケージでは難し過ぎ、細か過ぎで使いこなせないようです。

また、日本と海外の商習慣の違いもあります。現金主義会計の日本では販売・仕入の集計は月末にまとめるというシンプルなやり方ですが、発生主義会計の海外では販売・仕入等はINVOICE番号と常に紐付ける必要があるなど、この点では海外の方が細かい管理が求められます。

シンプルかつ実務に充分耐えられ、経営目線のデータがすぐに出てくる、日本的生産管理を海外でも実現できる、そんなシステムがないものかと考えた結果が『エグゼクス』です。

当初は「日本的生産管理を海外で」というビジョンから出発しましたが、結果的に日本の大手・中堅企業様にとっても最適なパッケージになりました。

お客様のビジネス環境の変化と共に、『エグゼクス』はさらに進化し続けてまいります。

システム導入の初期費用は、出来る限り抑えたい

クラウドサービスだから、初期コストを大幅に抑制

災害時の対策に不安を感じている

クラウド環境なら、大切な情報を安全に保管

生産状況を把握したい

製造ラインごとのリアルタイムな情報を表示

管理者が、出張中に現場の進捗を把握したい

現場主体の運用、しかも外出先からの確認も可能

海外拠点での現地サポートに不安を感じている

弊社スペシャリストが現地で直接サポート

外貨取引を一元管理したい

多通貨対応で資産計算も正確。新たな経営戦略立案を支援

さあ、『エグゼクス』でさらなる成長を。

『エグゼクス』3つの特長

1. クラウド



事業の拡大をスピーディに支援。
セキュリティの強化とBCP対策で安全に利用。



リーズナブルな価格で利用

安価な初期費用と月額料金のみで利用が可能のため、低予算での導入を実現します。



サーバに関する管理が一切不要

サーバの運用保守サービスはシステムエグゼが代行するので、社内のシステム管理者の負担を軽減します。
ハードウェアのメンテ不要で、必要な時に必要な分だけサーバ資源を用意出来るため、ビジネス拡大に合わせて最適なシステム拡張が可能です。



停電・洪水・地震にも安心

データバックアップはデータセンター内のバックアップ専用サーバで管理するので、運用環境と切り分けて安全に管理する事が出来ます。
データセンターは国内、海外を選択できるため、災害発生頻度の低い地域でデータを管理する事が出来ます。

2. グローバル



標準で、6ヶ国語に対応。
豊富な実績と現地サポートで安心を提供。



多言語対応により情報の統一・共有が可能

対応言語:日本語、英語、ベトナム語、タイ語、中国語、ミャンマー語

ワンクリックで表示言語を一括変換。利用PC毎に言語設定を変更し、利用ユーザーに合わせた言語表示が可能です。
現地スタッフとの情報共有や意識の統一も図れます。



多通貨機能による手間削減

在庫締め処理を行う際に、得意先・仕入先との取引通貨を会社決済通貨にレート変換し、金額計算を行います。
利用する通貨単位、レートは複数登録する事が可能ですので、お客様のビジネス範囲に合わせてお使い頂けます。



東南アジアでの導入・保守サポートも安心

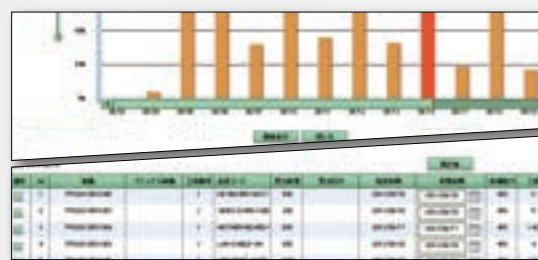
ベトナム拠点より、生産管理ノウハウのある弊社スペシャリストが直接サポートいたします。
日本語によるサポートも可能ですので、不安の多い海外拠点でのシステム導入・保守もご安心ください。

3. 現場の見える化

シンプルなグラフで現場主体の運用を実現。
情報の分析も簡単で、ボトルネックがすぐ分かる。

煩雑な業務データを、ワンクリックでグラフ化。整理された情報を分析し、組織内で共有する事で現場の課題や問題の早期発見、改善に役立てる事が出来ます。シンプルなグラフ表示だから誰でもわかりやすく、欲しい情報が一目でわかります。無駄が無いから、情報共有や分析が迅速になり、的確な経営判断を支援します。

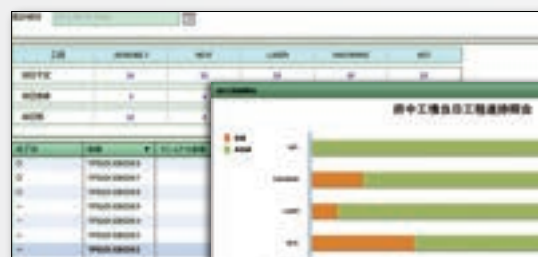
メリット1 資源を有効活用



負荷分散機能

製造ラインや作業者の負荷をグラフで表示。負荷状況を視覚的に捉えて、負荷分散を簡単に行えます。負荷オーバー、未稼働のラインや作業者の作業割り当てを変更し、能力に見合った無理のない作業指示を立案する事が出来ます。

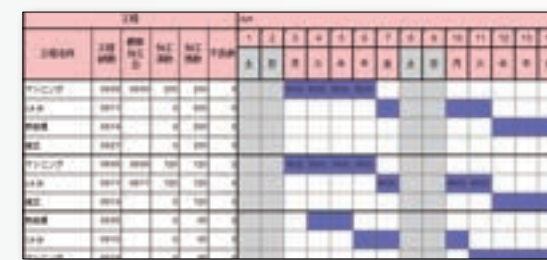
メリット3 リアルタイム情報で、生産担当への指示も迅速



当日進捗画面/グラフ

当日にフォーカスを当てた作業の予定/実績がリアルタイムに確認出来ます。管理者が作業指示の変更を迅速に判断することが出来るので、「遅れ」の見落としを防ぎます。

メリット2 予実の把握とボトルネックの分析に



工程一覧表

月毎の生産スケジュールと作業実績をExcel形式で出力。生産計画の立案結果を報告資料としても利用する事が出来ます。また、不良数を把握する事が出来るので、ボトルネックとなっている作業の分析が可能です。

メリット4 出荷製品の品質保証



ロット追跡

仕入から出荷までに使用した部品や材料に、ロット番号を紐付け出来ます。出荷後の製品に使われた資材がいつ入荷したのか、同じロットがどの得意先に出荷されたのかなどを追跡可能です。また、古いロット番号から払い出す事により、在庫の先入れ先出しにも利用可能です。

生産性を向上する、エグゼクスの充実機能。

受発注業務の効率化に

受注情報と出荷情報が連動しているため、出荷指示・請求書作成時に転記作業などの余計な手間を省けます。
また、注引量や注文内容が多様化しても、出荷待ちや納期に近いデータ、受注残情報などを簡単に調べる事が出来るため、担当者に負担をかけずに業務の効率化が図れます。



注文情報の状態検索が出来るので、未出荷データが一目でわかります。

MRP機能を活用した業務の適正化

MRP(資材所要量計画)や発注点管理方式による作業指示や発注情報の作成を自動化する事が出来ます。
また、必要な時に必要な分だけ生産が可能となるため生産効率が向上し、在庫数量や在庫保管場所を削減可能となり、コスト改善につながります。



業務の必要性に応じた設定項目により、MRP計算を実現。期間まとめやオーダーまるめ量の設定により、最適な所要量計算を行います。

見込み生産にも対応した生産計画の立案

量産・見込み生産に対応した生産計画機能を搭載。半製品や中間品を見込みで生産し、在庫としてストックする事で、製造・調達リードタイムが長い品目を使用する製品でも、短納期での製造が可能となります。
得意先からの短納期オーダーを逃さず、売上拡大に貢献します。



一面で計画数量と受注数量が確認出来るので、全体の生産数量が把握出来ます。

在庫の正確な把握と最適化

在庫の入出庫履歴検索により、いつ・どのような理由で在庫に変動があったかを正確に把握する事が出来ます。
指定期間以降に変動が無い在庫を検索する事も出来るため、生産効率と生産量とのバランスを考慮した最適在庫量を見極め、無駄の無い会社資産の運用をサポートします。



在庫情報は拠点ごと、倉庫の場所ごとに管理する事が可能です。

必要な情報をリアルタイムにデータ出力

標準機能としてすべての情報をExcel形式やPDF形式で出力することが出来ます。
会議や報告書用の資料作成として活用したり、過去の実績情報の集計など、今まで手間がかかっていた作業の時間短縮が可能です。
業務効率化はもとより、経営者と生産管理担当者の情報伝達スピード向上にも貢献します。



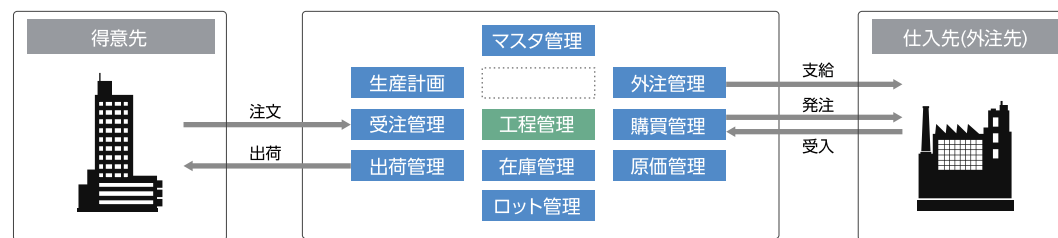
ワンクリックで全てのデータがExcel形式で出力可能。

機能概要

加工業版

【対応業種】 金属・プラスチック加工業/板金加工業/原材料加工業 など

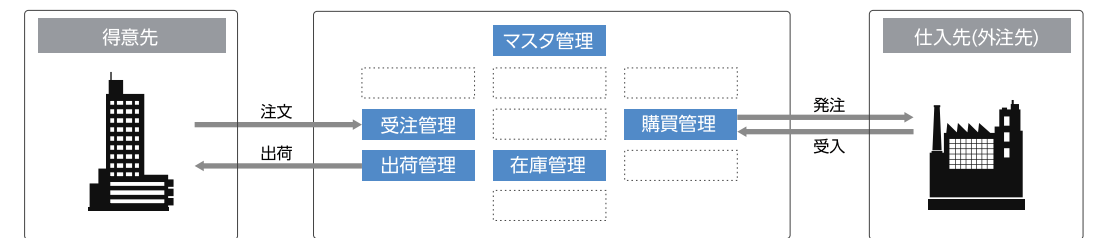
製番毎の作業指示、工程進捗をリアルタイムに見える化。
能力計算によって負荷を平準化し、資源の無駄を解消します。



Lite版

【対応業種】 受発注在庫の管理を行っている全ての企業、スタートアップでシステム導入を検討している企業

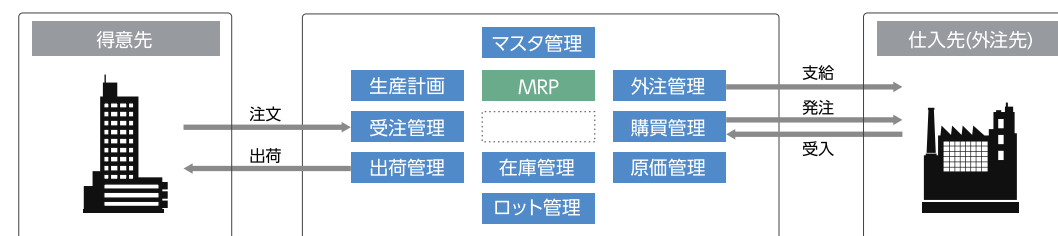
受発注業務がリアルタイムに連動するので、受発注残の状況を把握し、出荷漏れを防ぎます。
また、場所毎の在庫管理や受払を参照し、どこにいくつ在庫があるのかを把握する事が出来ます。



組立業版

【対応業種】 機械・電子機器・メータ類等の部品組立業 など

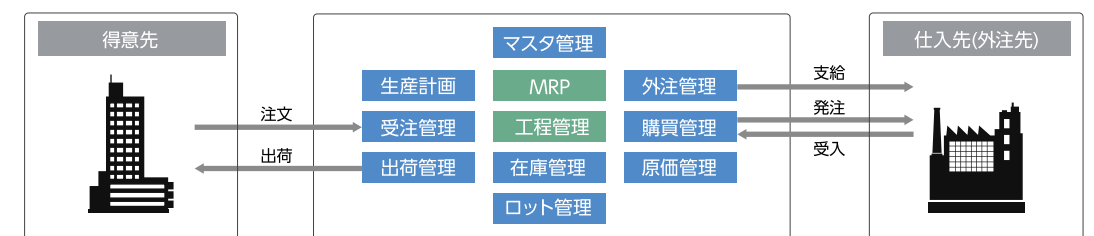
受注データや基準生産計画から入力されたデータを基に、部品構成表上の全ての部品・材料の不足数量と不足発生日を算出します。
納期とリードタイムにより計算された、生産計画や調達計画を自動作成します。



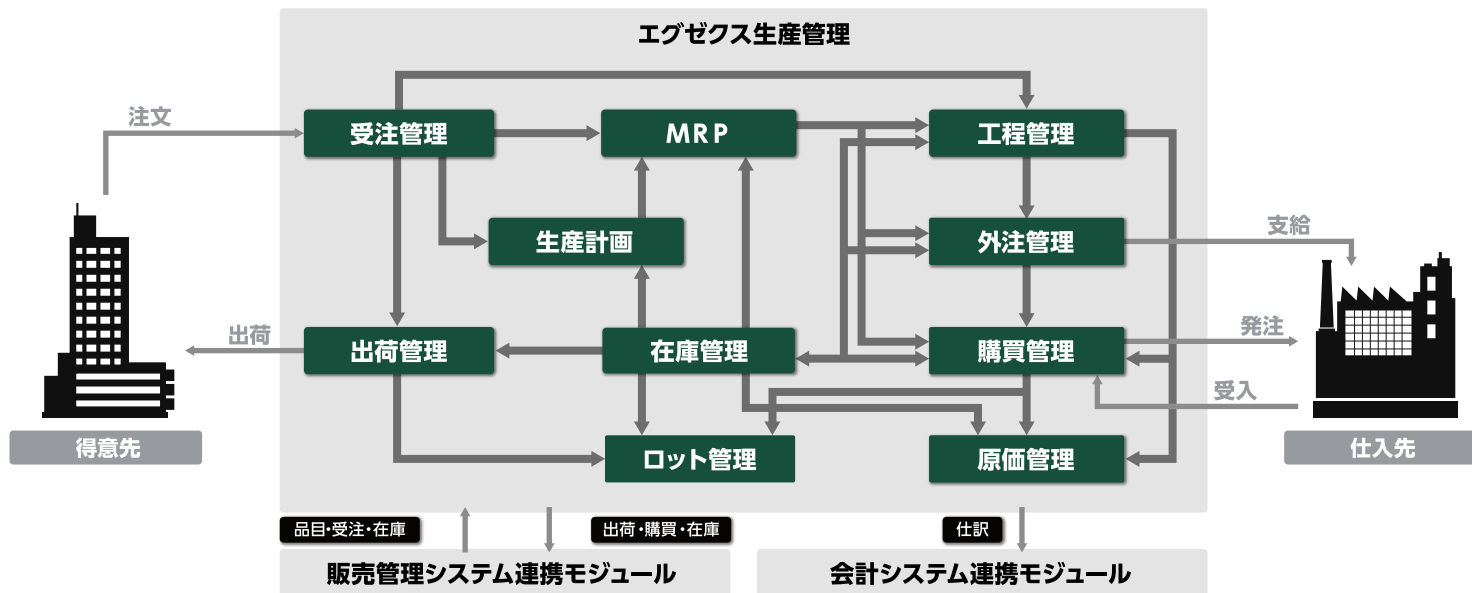
DX版

【対応業種】 部品表をもとに組立・加工を行っている製造業

MRPにより自動作成された作業指示情報を基に、作業指示毎の工程を管理します。
中間品や半製品単位に製造進捗や負荷の管理を行えるので、精度の高い生産計画を立案出来ます。



機能関連図



機能一覧

基本機能
言語設定
会社/組織/ユーザ管理
場所コード設定
カレンダー設定
バッチジョブスケジュール
各種マスタ設定
顧客
仕入先
品目
BOM
単価
工程
装備能力
受注管理
受注登録/照会
受注残管理
受注データインポート

出荷管理
出荷指示
出荷登録/照会
出荷残管理
INVOICE発行
生産計画
基準生産計画
在庫不足製品照会
在庫管理
現在庫照会
入出庫照会/実績
受払履歴
デットストック管理
在庫移動
品目振替
棚卸
締め処理

ロット管理
ロット在庫
ロット追跡
ロット出荷管理
MRP
マスタチェック
所要量計算
オーダーリリース
推定在庫照会
購買管理
発注登録/照会
発注書発行
受入登録/照会
検収登録/照会
仕入INVOICE登録/照会

工程管理
工程登録
工程一覧表出力
日程計算
負荷照会
作業指示出力
実績登録
進捗照会 (当日/製番)
外注管理
支給指示
無償支給
有償支給
原価管理
原価計算
実績照会
その他機能
販売管理システム連携モジュール
会計システム連携モジュール
ハンディターミナル連携オプション
タブレット連携オプション

動作環境

	サーバ	クライアント
OS	Linux CentOS 7.x 以降 Windows Server 2019	Windows 10
CPU	インテル® Xeon® E-2324G 3.1GHz, 8M キャッシュ相当	Intel Core i5 以上
メモリ	8GB 以上 (推奨:16GB以上)	4GB以上 (推奨:8GB以上)
HDD	100GB 以上 (推奨:500GB以上)	—
データベース	PostgreSQL 12 以降	—
必要なソフトウェア	Tomcat 7	Microsoft Edgeまたは、Google Chrome Excel 2016 以上
解像度	—	横1920 × 縦1080以上を推奨



株式会社システムエグゼ

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3-4-4 OVOL日本橋ビル7階
 TEL:03-5299-5352 FAX:03-5299-5354
<https://www.system-exe.co.jp/>
mktg@system-exe.jp
 ※本文記載の会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

お問い合わせはこちら

TEL : 042-354-1531 (代表)
 E-mail : mktg@system-exe.jp